

# もっと安心してご利用いただける鉄道を目指して ～サービス介助士の取得推進をはじめました～

JR九州では、これまでお手伝いが必要なお客さまのお気持ちに寄り添った、安全なお手伝いが提供できるように社内外の研修で知識や技術を習得し、おもてなしに努めてまいりました。

このたび、お客さまに鉄道をもっと安心してご利用いただくことを目的に、社員への「サービス介助士(※)」資格の取得を推進し、80名を超える社員が新たに資格を取得しました。

今後も、「安全・安心・快適な鉄道、サービス」を提供できるよう取り組んでまいりますので、お手伝いが必要なお客さまは、ぜひお気軽にお声かけください。

※サービス介助士…高齢な人や障害のある人だけでなく、すべての人との良好なコミュニケーションを育むための、「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、相手に安心していただきながらお手伝い・接することができる人を育成するための資格（日本ケアフィット共育機構 HP より）

## 1 サービス介助士取得の目的

高齢のお客さまやお身体の不自由なお客さまにより安心して鉄道をご利用いただくために、必要な介助技術やホスピタリティを習得することを目的に取得推進をはじめました。

## 2 サービス介助士資格取得者について



- ・資格を取得している社員は「サービス介助士」と明記した名札を2020年1月9日以降着用しています
- ・右下のマークは公益財団法人日本ケアフィット共育機構が指定するマークです



この他、社員やご利用のお客さま同士でお困りのお客さまへ積極的にお声かけをする「『声かけ・サポート』運動」や各種マナーキャンペーンについても引き続き展開してまいります。